

平成 26 年 9 月 11 日

「とちまる 6 次産業化成長応援ファンド」の第 1 号案件への出資決定について

足利銀行（頭取 松下正直）と株式会社農林漁業成長産業化支援機構、栃木県内信用金庫・信用組合、株式会社みずほ銀行、みずほキャピタル株式会社が平成 25 年 9 月に設立した「とちまる 6 次産業化成長応援ファンド」は、第 1 号案件として「株式会社 つちのか」に対し出資を行うことを決定しましたので、下記のとおりお知らせいたします。

当ファンドは引き続き、6 次産業化による地域経済活性化ならびに地域の雇用創出に向けて積極的に取り組んでまいります。

記

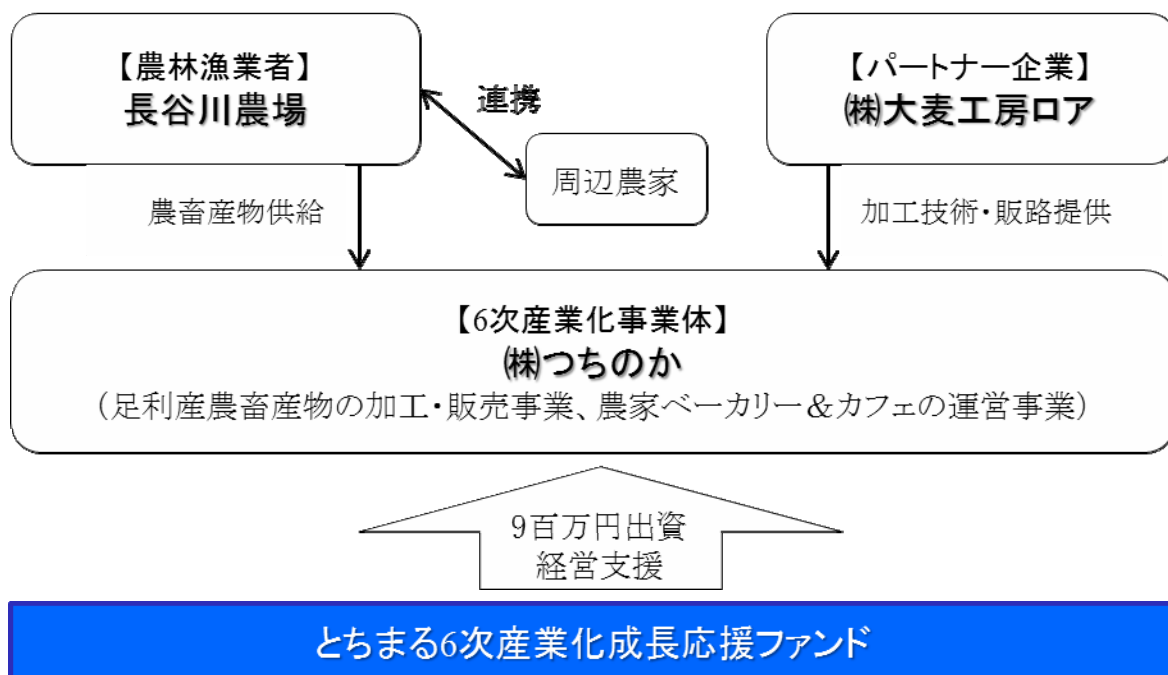
1. 出資案件の概要

出資先名	株式会社 つちのか(※1)
代表取締役	長谷川良光
所在地	栃木県足利市大月町 3 番地 1
設立年月日	平成 26 年 8 月 12 日
出資決定額	9 百万円
事業内容	(1) 足利産農畜産物の加工・販売事業 (2) 農家ベーカリー&カフェの運営事業
事業コンセプト	(1) 「つちのか」代表取締役が営む長谷川農場を中心とする農畜産事業者が提供する足利マール牛(※2)、アスパラガス、二条大麦といった多様な農畜産物の加工・販売を行い、農畜産物の付加価値向上による農業者の所得向上、および雇用創出に結びつける。 (2) 株式会社大麦工房ロアの通販チャネルを活用し、農畜産物加工食品を全国の消費者へ供給する。 (3) 「カフェサービス」という店舗チャネルにて足利産農畜産物の魅力を消費者へダイレクトに発信する。

※1 「つちのか」という名前は、土の菓、土の香、土の花といった複合的な意味を持って付けられた。土（大地）の恵みを受け生育したものを感謝して活用するとの事業者の思いが込められており、手作り感、ナチュラル感を前面に出していくもの。

※2 「マール」とはワイン用ブドウの果皮や種の絞りかすのことで、長谷川農場では地元ワイナリーの提供するマールに二条大麦粉を加え発酵させた飼料を使い肉牛を成育しブランド化を図っている。マール牛を使用する足利市内飲食店からは「さっぱりとした上にまるやかな甘みがある」との評価を得ている。

2. ビジネスモデル図



以上

<参考>

「とちまる6次産業化成長応援ファンド」の概要

- 1. ファンド名 とちまる6次産業化成長応援ファンド
(正式名称：とちまる6次産業化成長応援ファンド投資事業有限責任組合)
- 2. 設 立 日 平成25年9月27日
- 3. 規 模 20億円
- 4. 運 営 会 社 みずほキャピタル株式会社 (無限責任組合員)
- 5. 出 資 者 株式会社足利銀行 (有限責任組合員)
株式会社農林漁業成長産業化支援機構 (有限責任組合員)
栃木県内信用金庫・信用組合 (有限責任組合員)
株式会社みずほ銀行 (有限責任組合員)
- 6. 出 資 対 象 農林漁業者と2次、3次産業の事業者 (パートナー企業) が共同で設立する6次産業化事業体 (合弁会社)

